

今日の例会 [2474th] 2019. 4. 4

公益社団法人 日本青年会議所
東北地区 山形ブロック協議会
第52代会 長 西方茂太氏

前回の例会 [2473th] 2019. 3. 28

米山奨学生
バシヤール・サミウル君
(世話クラブ:南陽RC 同行:網代鉄二カウンセラー)

- ・点鐘12時30分 吉田 弘二 会長
- ・県民歌 最上 川
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ソングリーダー 若林 智次 君
- ・S A A 金子 良弘 君

会長あいさつ

吉田 弘二 会長

皆様こんにちは。大相撲春場所は、白鵬関の全勝優勝で幕を閉じました。しかし、関脇の貴景勝の活躍も見事でした。大関に昇進の口上も素晴らしいものでした。相撲人気にさらに拍車がかかりそうです。早く横綱になってほしいと思います。

それでは、本日のお客様をご紹介申し上げます。米山奨学生のバシヤール・サミウル君と南陽 RC の網代鉄二カウンセラーのお二人でございます。当クラブ例会において頂きまして誠にありがとうございます。のちほどスピーチをお願いいたします。

さて、平成の時代もいよいよ残り少なくなってまいりました。新元号が4月1日に公表される予定になっております。私たちが慣れ親しんできた昭和や平成という元号ですが由来など分からなかったのを調べてみました。元号の根拠となっているのは1979年に制定の元号法ですが、これはたった2項から成り立っており、具体的な制定手続きも、元号が満たすべき条件のようなものも規定されておられません。元号法の第1項：元号は、政令で定める。第2項：元号は、皇位の継承があった場合に限り改めるとなっております。

元号の歴史によると、選定条件があるようです。

(1) 国民の理想としてふさわしい、良い意味を持つものであること。(2) 漢字二文字であること。(3) 書きやすいこと。(4) 読みやすいこと。(5) これまでに元号またはおくり仮名として用いられたものでないこと。(6) 俗用されているものでないこと。以上のような条件があるようです。

明治の由来は、五経の筆頭易経にある一文で、「聖人が北極星のように顔を南に向けとどまることを知れば、天下は明るい方向へ向かって治まる。」の明と治を採って元号とした。

大正はやはり易経から「[大] 享を以て [正] しきは天の道なり。」という言葉が由来となっています。意味は、天が民の言葉を嘉納し政(まつりごと)が正しく行われるというものです。

昭和は、書経から「百姓昭明、協和万邦」を引用しました。国民の平和及び世界各国の共存繁栄を願う意味です。そして皆さんご存知の平成です。これは、書経の「地平天成」と史記の「内平外成」(うちたいらかにそとなる)を引用し、世の中が平穏に治まり万物が栄える事です。

こうして見ると元号はすべて平和と繁栄を願って作られていることがわかります。新元号がどのような文字で平和と繁栄を表してくれるのか楽しみです。

《幹事報告》

黒澤 嘉徳 幹事

- ・米山梅吉春季例大祭の案内が届いております。
- ・県縦断駅伝大会の南陽東置賜チームの賛助会会員費納入依頼があり、例年通り納入いたします。
- ・ロータリーレート：1ドル = 110円

スマイルBOX

- ・結婚祝い 小平 和広君・青木 道春君
- ・広介記念館の評議委員を仰せつかっております。 吉田 弘二君
- ・4月より娘婿が屋代小6年担任を娘が宮内小に赴任することになりました。 皆川 賢治君

ゲストスピーチ



南陽RC :網代鉄二カウンセラー

バシヤール・サミウルくんはバングラディッシュの出身です。米沢の山工工学部の大学院を終えました。4月には米沢の会社に入社が決まりました。奥さんもおり、山大に入学するそうです。とても優秀な方です。バングラディッシュの人口は1億5,940で日本よりも多い国です。これから工業でどんどん進化していく国だと思っています。



米山奨学生
バシヤール・サミウル君

こんにちは。高校までバングラディッシュで電機電子の勉強をしていました。1年間働いた後、日本の文化が好きで、山形大学に入学しました。2年間勉強して卒業しました。昨年ロータリーの米山奨学生に選んでもらい、ロータリアンの皆さんには本当にお世話になりました。その奨学金で生活に不自由なく勉強できました。

今日はバングラディッシュについてお話したいと思います。私は日本に来て4年になります。

バングラディッシュはインドに東側になります。北と東西の三方はインド、南東部はミャンマーと国境を接します。南はインド洋に面しています。もともとイギリスの領

次回の例会 [2475th] 2019. 4. 11

ゲストスピーチ

高島町議会議員
秋葉 晶子氏

土でした。1971年にパキスタンから独立しました。バングラディッシュはベンガル語で「ベンガル人の国」を意味します。首都はダッカです。面積は147,000km²、人口は159,400,000人です。バングラディッシュの国旗と日本の国旗は似ていて赤が昇る太陽、緑が豊かな大地を表します。豊かな自然を表す緑の地に独立のために流した血を示す赤い丸、という説もあります。赤丸は真ん中から旗竿寄りになってあります。私は日本も大好きなので、両国の友好の橋に成ればよいなと思っています。農業が盛んで日本の米ととても似ていますが、バングラディッシュの米は長細いものです。良く食べるものはカレーで朝と夕の2回はカレーです。もう一つよく食べるものがあり、ナンのようなもので、それもカレーといっしょに食べます。女性の服装はサリーと呼ばれるものです。代表的な伝統衣装で、主に既婚の女性が着ます。5mほどの美しい1枚の布をペティコートと呼ばれるスカートの布に巻きつけて着ます。バングラディッシュでは女性はこの布で顔を隠すことが多いです。繊細な刺繍や透明感が魅力的です。未婚の若い女性は主にサロワカを着ています。サロワカはワンピースとパンツにショールが付いた3点セットになったものです。パンツはゆったりとしていて紐調節ができ、動きやすいです。バングラディッシュでは身体のラインを出さない様、工夫しているので、ショール(現地ではオロナと呼ぶ)で頭と胸元をふんわり隠します。男性はパンジャビーという服で男性が着る宗教上の礼服で、日常的に着ている人も多いです。「ルンギ」は腰に布を巻くスタイルの衣装で、「巻きスカート」のようになっています。部屋着や農作業などで着るほか、露天商やリキシャワラ(リキシャの運転手)も着ています。最近のバングラディッシュの男性は、ジーンズにTシャツや、パンツにワイシャツといった服装の人も多いのですが、上がTシャツで下はルンギ姿の人も少なくありません。色柄はブルーやチェック等が多く、露店で売られています。日本のようにはっきりした四季はありませんが、季節的に分けると、11月から2月が乾期にあたり、真っ青な空の日が続き気候は温暖になります。4、5月は最も蒸し暑い時期です。6月から10月はモンスーン期で雨が降り湿度が高くなります。乾期にあたる11月~2月の3~4ヵ月間位は非常にしのぎやすくなります。

《出席報告》

会員数 48名 出席者数 27名 出席率 56.25 %
前回修正 出席者数 28名 出席率 58.33 %

《メイクアップ》

杉森 文昭君・高橋 正人君・小平 和広君
高梨 恭行君・庄司 薫君・青木 道春君
島崎 裕司君